



名称	宗光寺七重塔
よみがな	そうこうじしちじゅうとう
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	建造物
所在地	本町
所有者	宗光寺
員数	1 基
指定年月日	昭和 61 年(1986)7 月 23 日
構造形式	花崗岩製
法量	高さ 250.3 cm
時代	鎌倉時代 14 世紀
公開状況	常時公開
交通案内	JR三原駅から西へ約 800m

【解説】

この石塔は、本堂の向かって左手にあり、二重の台石の上に立っています。相輪そうりんを欠損しているほか、背面が火に罹ったために基礎きそや塔身とうしんに剥離が見られます。相輪が揃っていれば総高 300cm の 10 尺塔であったものと考えられます。

銘文は、塔身の月輪左右の空間に配していますが、向かって右側は剥離して痕跡をとどめませんが、左側に陰刻された 2 行から、「大工心阿」の作ということが分かります。